

神樹の会会報

No. 54
平成13年7月17日

発行所：神樹の会
発行人：宮脇テル子

本部事務所 (六甲作業支援センター内) ☎821-1533
〒657-0037 神戸市灘区備後町3-2-22

明芳デイサービス ☎735-8835
〒654-0024 神戸市須磨区大田町6-4-4

福祉の店「いたやど」 ☎733-2477
〒654-0022 神戸市須磨区大黒町2-2-12

たおじ作業所 ☎987-2532
〒651-1312 神戸市北区有野町有野字白原3689

六甲作業支援センター ☎821-1533
〒657-0037 神戸市灘区備後町3-2-22

ゆめの作業所 ☎578-3539
〒652-0041 神戸市兵庫区湊川町8-4-10

垂水作業支援センター ☎782-9675
〒655-0006 神戸市垂水区本多町7-2-3

「措置から契約へ」

神戸市保健福祉局参与 藤井 良三

国の方で、福祉のあり方の法律改正がなされ、神戸市としても十五年度に変わるのに向けて準備中です。その一つに福祉事務所経由の措置であったのが、利用者と事業所の契約になり、支援制度に移行します。また、まだ具体案は決まっていますが、更生相談所で手帳の再判定も考えられます。利用契約方式で、それぞれの事業所に申し込んでサービスを受けるため、基盤整理、情報提供が必要であり、利用者として事業所が対等の関係を持つよう第三者評価制度をきちんと作り権利を擁護します。

障害者福祉計画が十四年度より新しくなり、自分の身近な地域での生活を旨とし、アンケートによる要望や、相談の窓口を考えています。

これらの事を次期計画にどう組み込んでいくか具体的になれば神樹の会にも提案します。

昨年バリアフリー法ができて特に鉄道駅舎等に適用されていますが、今後公共施設等、利用者の意見を聞く機会を持ちたいと思います。

今秋にしあわせの村にオープンする重心施設は、市では初めてで地域の障害者へのサービスの提供を検討中です。

第30回 総会

「重度重複化する子供の将来」

神戸市立友生養護学校長 岡田 孝久

神樹の会には、本年度卒業生2名が、たおじ作業所でお世話になっています。歴史のある会ですが、子供の重度重複化で親の考え方も変わり、神樹の会と距離をおくようになってきました。

学校は来年から、週五日制へと変わります。大きな教育改革が訪れ、学校は地域のセンター的役割を果たし、また重度重複化への対応のため、教員の育成、そしてそれをどのように支援するか

が大きな課題です。

進路の問題は、障害の重度重複化でますます難しくなっています。親の希望は、学校と同じように週五日通え、在宅にならないようなものが欲しいのですが、現場実習や進路説明において、そのようなものは非常に少ないようです。

今後は、福祉・医療・消防関係との連携も視野に入れ、神樹の会の皆様方と手を携えてやっていきたいと思っています。



会員総数	508
出席者数	52
委任状	302
合計	354

平成13年度総会が、去る6月24日(日)に神戸市勤労会館において、多数の来賓をお迎えし開催されました。各氏よりいただきましたごあいさつの要点をご紹介します。

「変革の時を迎えて」

神樹の会会長 宮脇テル子

社会福祉制度の基礎構造改革に伴い、平成十五年より措置制度から契約制度に変わり、支援費制度が導入されます。これは六甲・垂水作業支援センターに適用され、単価計算のシミュレーションがなされていますが、サービスの低下がないように望みます。年金の見直しや医療改革など、まさに平成十五年はX年と言えるでしょう。

神樹の会も三十周年を迎えます。外部の変革に応じて内部も改革の必要があります。一部の人がだけが幸せになるのではなく、障害のある人を支援する会を目指したい。自己決定のできない方々にお手伝いしていきたいと思っています。

平成13年度 神樹の会総会

重点目標
強め
地域社会への参加と交流
充実
現実
福祉の発展と充実



▲ 経過報告される東郷先生

「障害者が安心して出られるよう」

神戸市議会福祉環境委員会委員長 植中 進

未曾有の大震災から6年、着々と復興し、一層すばらしい街にとがなっています。

ご不便をおかけしていますが、障害者が安心して社会にどんどん出て行けるように、短期、中期、長期的にひとつずつ出来ることから環境を整えていき、各委員すばらしい街を作るようがんばっていききたいと思います。

バザーに関して次のような意見交換がありました

- ◇卒業する子ども達のために、何かをしなればという願いからバザーが始まった。
- ◇友生PTAは神樹の会を規約からははずしたので、バザーをするのは難しい。
- ◇垂水(養)PTAは事業計画の中に入っている。バザーにはボランティアとして手伝ってもらっているが、中心になる役員が大変。OBと協力していきたい。
- ◇在校中バザーが大変だったという思いはあるが、普通校のPTAの方が暑い中募金活動をしてもらっている姿に頭が下がった。
- ◇もしかして、私たちは権利は主張するが義務を忘れていないかと思う。OBの方々も高齢化で手伝えない人も多くなり大変。
- ◇バザーで働く人が年々減っている。一人ひとりが初心に返って、どういうように力を出していかれるかを考えていければいいと思う。
- ◇バザーに協力し寄贈されている方々や賛助会員の先生方の気持ちをどう思っているのか。親ががんばってこそ行政に向かって望むことが言えるのではないか。
- ◇いろいろな進路に行かれ、他団体にも所属している人も多いが、みんなの気持ちを合わせていけるのではないか。これだけ先生方に協力してもらえない団体はない。

感謝

兵庫県職員組合
歳末義援金より
(県肢連を通して)

重点目標

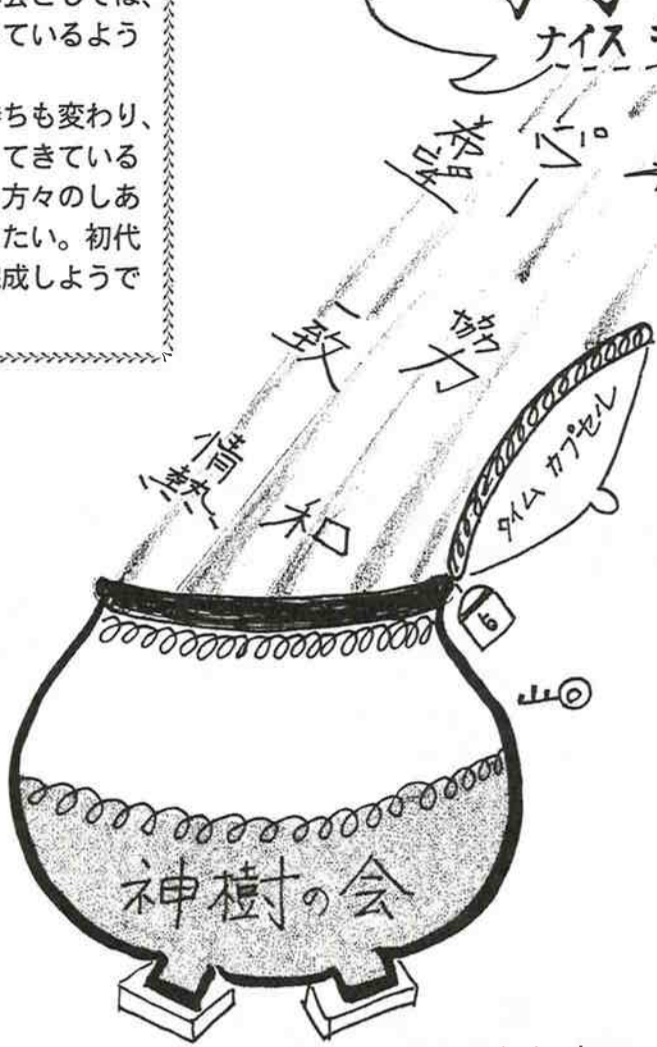
1. 会員相互の絆を強め、共に生きる輪を広げよう
2. 身体障害児(者)の地域社会への参加と交流
 - ①事業の確保・拡充
 - ②療護施設の早期実現
 - ③重症心身障害児(者)施設の建設促進
3. バザー活動の発展と充実

平成13年度

30年前の創立時の会則は、年々改正を加えてきたが、両養護学校PTAの会則変更に伴い、また時流にマッチするため大幅に変更することになった。加えて神樹の会が法人化に向けて歩みだそうとしている。かつて30年前に牧野先生を中心に本会を立ち上げたご父兄の皆様の熱意とパワーは、その後受け継がれてきているが、障害のある方々を支援する本会としては、再び会員の皆様の力の結集の時期が到来しているように思える。

時代は流れ、環境が変わり、人々の気持ちも変わり、障害も重度重複多様化し、価値観も変わってきているが、一人ひとりが初心に戻って障害のある方々のしあわせを願い、力を出し合い、努力していきたい。初代から現代へ、そして次代へのカプセルを完成しようではありませんか。

NEXT TIME CAPSULE
翔べ 21世紀へ
Young Generation



あたたかに
よりそう
気持ち
あわせよう

10年になりました

明芳デイサービス所長 西原 幸左子
平成三年五月七日に開所した明芳デイサービスは今年で丸十年を迎え、五月三十一日に須磨区民大ホールで祝十周年記念式典を開催しました。

今までお世話になった方々への感謝状贈呈、大下神戸市立心身障害福祉センター所長の基調講演、垂水養護学校PTAコーラスや利用生が自分達で作った作品での編物ファッションショーなど、心に残る式典をとり行うことができました。

また会場のレイアウトに利用生達が障子紙に思い思いにポスターカラーでボデイペインティングした作品や、十年間の主な活動や出来事の写真を飾り付けましたが、準備をしていたといういろいろな事が思い出されました。特に平成七年の地震はとて強烈で、板宿の街は、全壊の明芳デイサービスがどこにあったかわからない状態でした。地震後多くの方々のご援助を得て事業を進め、同じ場所に再開することができ現在に至っています。

各関係機関をはじめ、家族のようにお付き合い下さる大勢のボランティアさんに囲まれ、利用生達の純粋な心や楽しそうな会話、笑顔に支えられ歩んでこれたことを心から感謝申し上げます。

大きくなっても温泉行きたいネ!!

山田 直枝

うちの家族はとて旅行が好きで、とくに障害がある上の子は温泉が大好きで一年間に五回は旅行に出かけます。主人の仕事がらもあり、うちの場合は車椅子対応等いろいろな情報が得られますが、他の方はどうしているのでしょうか。

車椅子常用者が旅行に出かけたいと思った時、あまり情報の少なさにいつも驚きます。ホテルや旅館のパンフレットにも車椅子対応のことは目立って載せていない



平成13年度新役員が次の方に決まりました。

新役員紹介

顧問	水野 整一	岡田 孝久	幹事OB	牛村 和子	堀川 静子
会長	本田 巨			中元千鶴子	奥村 幸子
名誉会長	宮脇 テル子			横山 シズ	百道 泰子
副会長	牧野 一夫			高木 恵子	豚座 八重子
	谷 良子			本多小夜子	大橋 敬子
学校代表	西原 幸左子			藤本百合子	下山 吉子
会 計	白石 節子			北脇 貞子	柏原 諄子
	池田 倫子			岡本八重子	浦上 諄子
	河田 倫子			市場 千明	岩桐 ナツ子
	山内 成美			辻野 富貴	市川 京子
	泉 伸一			松本みよ子	久本 春子
書記	田中 陽子			大森 徳枝	谷口 成子
	黒田 素美子			八幡 頼秀	平尾 悦子
事務局長	小野 治子			薬師寺 勤	吉田 雅文
庶務	北脇 貞子			辻本 薫	
	前川 登美子			植田 洋子	
	明芳デイサービス事業所所長	西原 幸左子	相談役	足立 梅雄	池田 稔
	たおし作業所所長	辻野 富貴		長谷川 隼彦	高内 恒夫
	ゆめの作業所所長	堀之内 広美		山田 福松	石川 敬
	六甲作業支援センター担当者	伊藤 弘海		田中 等	安原 實
	垂水作業支援センター担当者	西垣 幸夫		浜本 允美	原田 由雄
	福祉の店いやと責任者	土居美千代		東郷 賢治	高井 寛
		山内 妙子		北 義和	望月 秀雄
		吉岡佑起子		北川 静子	
		進元 文枝			



▲私のつくったワンピース きれいでしょ。

計報

平成十三年五月より七月までに次の会員の方々が亡くなりました。心よりお悔やみ申し上げます。

杉本 昭様(昭和五十年友生卒 杉本泰彦さんの父親)

古川 学先生(元垂水養護学校 ひとり学級教頭)

あんずの会会長の津高和子様が、お亡くなりになりました。ご生前は大変お世話になり、ありがとうございました。

あとかぎ

木々の深い緑に力づけられる思いのする今日この頃です。お元気でいらっしやいますでしょうか。神樹の会も多くの皆様のご協力で今年三十周年を迎えることができました。

これからも皆様のニーズを力強くサポートできる会として大きく成長することを願いつつ、この喜びと共に会報五十四号をお届けします。

田村 吉本 山田 岩本 大住
矢野 岡本 小野 宮脇

(垂水養護学校小学部四年 母親)